



# 「より良い復興」に向けた 羅針盤としてのSDGs

2020年9月2日

経団連常務理事・SDGs本部長

長谷川 知子

## 1. 新型コロナウイルスの感染拡大への対応

## 2. レジリエントな経済社会の構築

(1) デジタル技術を活用した成長戦略の強化

(2) 脱炭素社会に向けたエネルギー・環境対策の推進

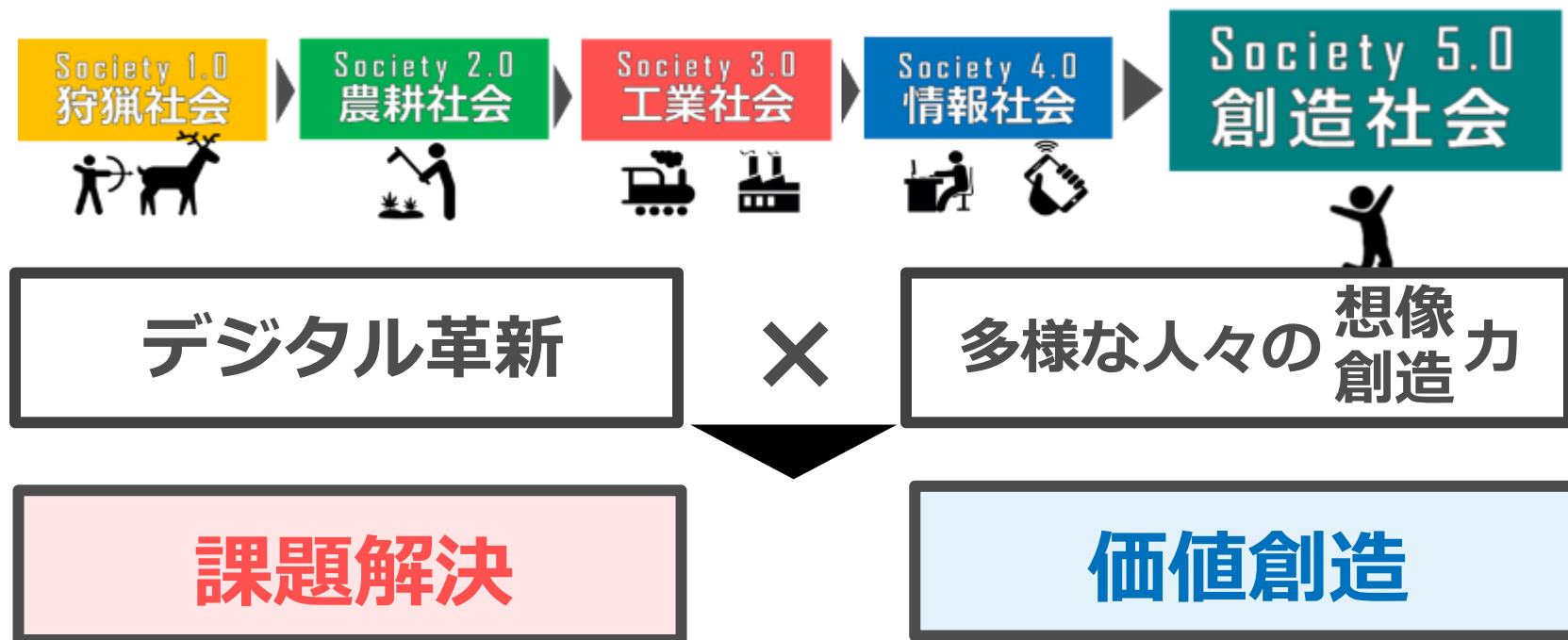
(3) 働き方改革と人材育成

(4) 地域経済の活性化

## 3. 自由で開かれた国際経済秩序の回復

- Society 5.0 とは、デジタル革新（DX）と多様な人々の想像・創造力の融合によって、社会の課題を解決し、価値を創造する
- 社会課題解決や自然との共生を目指すSociety 5.0は、SDGsと変革の方向の軌を一にしている。

## Society 5.0



## 共同研究報告書

### 「ESG投資の進化、Society 5.0の実現、そしてSDGsの達成へ」

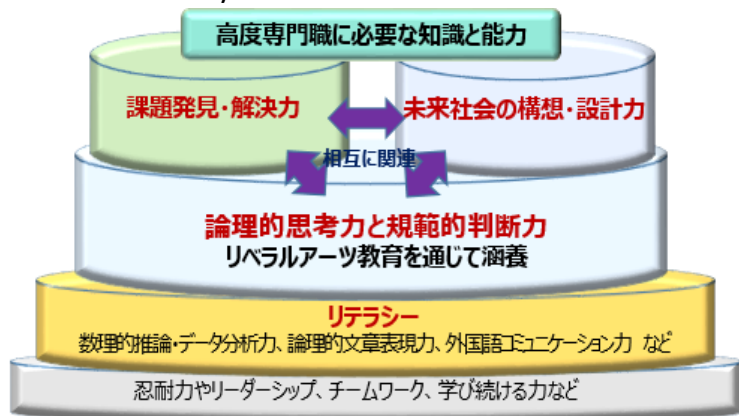
(2020年3月26日公表)

Society 5.0  
に向けて  
捉えるべき課題

メガトレンド	発生しうる課題/変化	解決を期待する技術
人口構造の変化	高齢者の危険運転	自動運転
	少子化による労働力不足	ロボット
大都市への集中	地方の過疎化、弱体化	リモートワーク技術
	地方の医師不足	遠隔医療
健康寿命の延伸	認知症の拡大	予防医療
	生活習慣病の拡大	データセキュリティ
循環型社会の形成	資源不足	資源の再利用
	廃棄物汚染	廃棄物処理
働き方の多様化	オフィス勤務が減少	画像認識、音声認識など
	効率化の追求	各種センサー技術
文化の多様化	外国人の増加	翻訳技術
技術を活用した安全で スマートな生活	スマートシティ/スマートライフ	クリーンエネルギー
	エネルギー不足と危険性	
気候変動と災害防止	気候変動による災害の深刻化	気候予測
	災害救助/対応の危険化	ドローン

## Society 5.0 for SDGs実現の鍵は「人材」

＜Society 5.0で人材に求められる能力＞



## 地域共通の課題

人口減少による活力低下  
地域の求める人材の還流・地方に魅力的な雇用機会 少

## 地域における産学連携・産官学連携の推進

求められる  
方向性

イノベーションの創出と研究・開発から  
商品・サービス化、社会実装まで一貫した  
イノベーション・エコシステムの確立

地域活性化人材の還流・定着、地域の産業振興

## 産官学連携 具体的取組み

17 パートナシップで  
目標を達成しよう



- ✓ 地域の大学が有する産業発展・新産業創出につながるシーズと地域の産業や企業のニーズ・地域の課題を融合したイノベーションの創出
- ✓ 地域の大学と企業、産業界による「組織対組織」の連携拡大を通じた、地域ならではのキャリアデザインの共同構築、質の高いPBL型教育・インターンシップやリカレント教育プログラムの提供

今般のコロナ禍を受け、改めて地方分散の機運の高まり

地域資源を活用した生産・流通・消費の活性化

地元企業・スタートアップ・研究機関等  
とのオープンイノベーション

農業・観光をはじめとする基幹産業の  
担い手・行政等との連携強化

**Keidanren**  
Policy & Action

経団連はSDGsを支援しています。

